

別記様式

議 事 録

会議の名称	令和7年度 第4回岩倉市都市計画マスタープラン及び緑の基本計画検討委員会
開催日時	令和7年12月3日（水） 午後3時30分から午後4時30分まで
開催場所	岩倉市役所 7階 第1委員会室
出席者 （欠席委員・説明者）	出席委員：嶋田委員（委員長）、長谷川委員（副委員長）、森山委員、堀尾委員、伊藤委員、井上委員、石黒委員、櫻井委員、阿部委員、宮川委員、浅田委員、篠田委員、青柳委員（代理：愛知県都市計画課 岩越課長補佐）、湯浅委員（代理：愛知県公園緑地課 森井主査）、久田委員 欠席：船橋委員 事務局：建設部長、都市整備課長、計画営繕グループ長、担当中央コンサルタンツ㈱2名
会議の議題	（1）岩倉市都市計画マスタープラン中間見直し案について （2）岩倉市緑の基本計画に関する中間評価について
議事録の作成方法	■要点筆記 □全文記録 □その他
記載内容の確認方法	■会議の委員長の確認を得ている □出席した委員全員の確認を得ている □その他（ ）
会議に提出された資料の名称	資料1：次第 資料2：岩倉市都市計画マスタープラン中間見直し案に対するパブリックコメントの結果について 資料3：(案) 岩倉市都市計画マスタープラン中間見直し案（答申） 資料4：岩倉市緑の基本計画に関する中間評価
公開・非公開の別	■公開 □非公開
傍聴者数	1人
その他の事項	

検討内容（発言者、発言内容、検討経過、結論等）

1 議題

（１）岩倉市都市計画マスタープラン中間見直し案について

事務局：資料２、資料３について説明

委員長：パブリックコメントの結果については公表するのか。

事務局：すでに公表済みである。

委員長：公表後、市民等から特に意見はあったか。

事務局：特にない。

委員長：その他、特に意見が無ければ、答申書案を正式に答申書として承認してよいか。

委員：異議なし。

委員長：答申書案を正式に答申書とし、市長に答申することとする。

（２）岩倉市緑の基本計画に関する中間評価について

事務局：資料４について説明

委員：18 ページに新たな取組や考え方として５つの項目があるが、一般市民に対してもう少し分かりやすい表現ができないか。

事務局：実際に 18 ページのような名称があり、名称だけでは分かりにくいいため、なるべく簡潔に説明も併せて表記している。

委員：国としても生物多様性の質を高め、ネイチャーポジティブを実現していくために、在来の生物が住める環境作りをしていく方向となっている。その中で 14 ページの公共施設の緑化について、学校給食センターにゴールドライダーを植えているが、次にどこか植えるときは在来種を考えてみてはどうか。そういったところがネイチャーポジティブにつながっていく。15 ページの緑化ウォールやプランターもきれいではあるが、日本の野草も植えたりして、どういったことを目的として実施しているかを掲示することで、市民にもより伝わるのではないか。

委員：緑は維持管理が大変なため、どういった管理体制をとるのか、持続できる管理体制での予算の付け方を検討したほうがいい。

事務局：在来種の件など取り入れられる部分については修正する。

委員長：16 ページの保護樹マップやリーフレットの字が小さく見にくい。

事務局：修正する。

委員：外観は大丈夫だが中が腐食していることで木を伐採することがあるが、昔からある木は思い入れのある方もいると思うので、写真を撮る時間を設けたり、切った木を持って帰ってもらう等、切る前に周辺地域の方に周知することで、緑の大切さをより感じてもらえるのではないか。

事務局：五条川の桜については、維持管理で幹や枝の伐採・剪定をしているが、その際に発生した廃材を原料の一部に使用したボトル「さくらマイボトル岩倉五条川」を作成し販売しています。また、保護樹・保護樹林については、治療や診断にも予

算を計上しており、要望があった際に活用できる制度がある。いただいた意見も踏まえ、今後の５年間で検討していきたい。

委員長：その他なければ、若干の修正はあるが承認いただいたこととする。

２ 答申

「岩倉市都市計画マスタープラン中間見直し案」について委員長より市長へ答申

３ その他

市長あいさつ、委員長あいさつ

４ 閉会